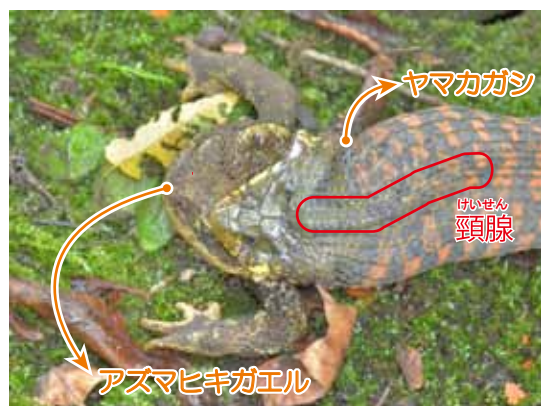


～ヘビ、カエル嫌いの人にはごめんなさい～

アズマヒキガエルを食べるヤマカガシ



秋の晴れた日にヘビに遭遇する機会が増えたような気がします。つい先日も体長が1m以上ある立派なヤマカガシを目撃しました。このヤマカガシは出遭った瞬間、首を持ち上げ威嚇（いかく）してきました。この様子がまるでヘビ使いがコブラを操るあの光景に似ていたのでびっくりしました。2分ぐらいじっくり動きを観察していたところ、威嚇に疲れたのか、石の隙間に逃げて行きました。その後その場を離れ3時間後ヘビに遭遇した付近に戻ってくることになるのですが、まさか同じヤマカガシに出会うとは思いませんでした。

2度目にこのヤマカガシを見かけた瞬間、頭がつぶされているように見えたため、殺されてしまったのではと勘違いしてしまいました。よくよく観察してみると、それは、大人の拳ぐらいあるアズマヒキガエルを今まさにヤマカガシが飲み込もうとしているではありませんか。カエルは飲み込まれないように踏ん張り、ヘビは少しづつカエルを飲み込んでいく様に“生きる”という本質を見たような気がします。この後、写真にある体勢で動きが止まってしまう、結末を見ることなくその場を立ち去りました。（佐々木）

＜アズマヒキガエルとヤマカガシの関係＞

アズマヒキガエルの耳腺には毒があります。天敵に出会ったときに首を持ち上げ威嚇するのは、この毒を出し、その隙に逃げたりします。しかし、ヤマカガシは毒のあるヒキガエルを捕食します。これはヒキガエルの毒をヤマカガシが利用するためです。ヤマカガシの首周辺には、このヒキガエルから摂取した毒を溜める

頸腺があります。天敵に出会ったときに首を持ち上げ威嚇するのは、この頸腺の毒で相手をひるませるという理由もあるようです。また、ヤマカガシの口の奥にはデュベルノア腺という毒腺があります。深くかまれると危険ですので、むやみに捕獲するのはやめましょう。

～あきる野の森への誘い～

森林レンジャー講演会

9月21日に講演会「森林への誘い～森林レンジャーが見てきたあきる野の現状とその未来」を開催しました。森林レンジャーが見てきたあきる野の森に関する報告書3年分、それをもとに各レンジャーが発表しました。それぞれが熱く自然の話をしたために、講演会の終了時間を延長する事態となってしまいましたが、皆さん真剣に話を聞いて下さり、本当にありがとうございました。

今回の発表の基になった「森林レンジャー活動報告書」はあきる野市のHPから閲覧することが出来ます。ご興味のある方は是非下記のアドレスからご確認ください。

○森林レンジャー活動報告書

http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=1642&frmCd=2-6-6-0-0



ゆるキャラ[®]グランプリ2013
出場中!!



みんなで
森っこサンちゃんを
応援してね!

あきる野市
イメージキャラクター

投票期間は9月17日～11月8日

パソコン・スマートフォンからは

ゆるキャラグランプリ2013

検索

携帯電話からはこちら→→→→→

毎日1票 投票お願いします!!



ニホンジカはグルメ？

あきる野市内で、シカを追っていますが、まだまだその動向が解りません。ただ言えることは、確実に頭数が増え、人家周辺に近づいています。今後、畑地での被害も想定しなければならないと思っています。

これまでは、冬季に群れを離れた若いオスが単独で星竹周辺に生息していたのですが、今年の冬(2013年)には、メスを含む群れが星竹で越冬して、5月末には出産して子育てをしています。

6月頃に「ピーピー」と甲高い鳴き声を聞いた方もいると思います。これは小鹿が親を呼ぶときの声だと判断しています。同様の鳴き声は戸倉地区の日陰本田山周辺や光厳寺周辺でも確認されています。

ニホンジカの食事

春に目にする食痕は、ミツバやツユクサなどの食べ跡を目にします。不思議なことに、5月も中旬を過ぎるとこれらの草には興味を示さなくなり、アカソやナギナタコウジュなどの食べ跡が目につくようになります。一説には、その時々で必要とする栄養素やミネラルを多く含む物を食べていると言われています。

春:ミツバの食痕



春:ツユクサの食痕



初夏:アカソの食痕



初夏:ナギナタコウジュの食痕



季節が変わると、好んで食べる草が変わってきます。旬の物を食べているグルメな食生活を送っています。また、梅雨が明けて暑くなると標高を上げて林内で夏を涼しく越します。この季節、まだ何を食べているか確証がありません。

9月下旬に涼しくなると山から下りてきます。この時期は、落ちたドングリなども食べるため、草本の食痕を見つけるのは難しいです。

今年は、昨年に比べて山から下りてくる時期が遅いように感じます。理由として考えられるのは、昨年に比べてドングリ類が多く、林内でドングリを食べている為、下りてくるのが遅くなっていると思っています。(杉野二郎)